

4 小学部の取り組み

生活単元学習 単元名 「『ごはん屋さん』に行こう」

(1) 単元について

本単元は、客と店員に分かれ、客が欲しいものを注文したり、教師と一緒に店員になって挨拶や食べ物を渡したりする活動を楽しむ単元である。

(2) 児童の実態

2年生は、男子3名、女子5名の計8名で構成されている。コミュニケーション面では、全員が簡単な言語指示や身振りによる指示、具体物やイラストカードを見るなどしながらやるのが分かり、行動することができる。要求を簡単な単語や発語（「ちょうだい」など）で伝えることができる児童が3名、表情や指さしで表現する児童が5名など実態は様々である。繰り返し活動に取り組むことで、大まかな見通しをもち、自分から取り組もうとする児童が多い。人とのかかわりについては、遊んでいる友だちに加わり友だち同士で楽しく遊ぶ児童が3名、教師など大人を誘ったり、自分の好きな物で思い思いに過ごしたりしている児童が5名いる。5名の児童については、自分の遊びをしながらも周りをよく見ている、友だちがしていることと同じことをしてみようとする様子が見られるなど周囲への関心が少しずつ出てきている。

(3) 単元設定の理由

本単元は、友だちや教師とかかわって見立て遊びに取り組むことをねらいとしている。7月の単元「おはなしで遊ぼう」では、絵本「しろくまちゃんのほっとけーき」の読み聞かせの後、おもちゃを使ってホットケーキ作りに取り組んだ。食べ物が出てくる絵本の内容を題材にしたことで、児童の興味・関心が高く、ストーリーも分かりやすかったので積極的に取り組んでいた。また、調理器具やホットケーキプレートの模型などの教材を使って行ったことで、自分から道具を手にとって操作する児童や、教師の真似をして同じように道具を動かそうとする児童が多かった。活動が進むにつれて、友だちや教師が活動に取り組む様子を身を乗り出しながらかけている児童や、名前を呼ばれる前から手を挙げて「やりたい」と伝える児童がいるなど、一層関心をもって取り組む様子が見られた。単元終了後、家庭で家族と一緒にままごとで遊んだ児童もいた。そこで、児童の関心がある食べ物を題材した見立て遊びをすることで、教師の真似をしながら児童同士でかかわって遊ぶこともできるのではないかと考え本単元を設定した。

「ごはん屋さん」を始めるときの準備は、客が校内を歩いている間に教室に看板や店などの用意をしたり、廊下に食券ボードを用意したりする。教室内の準備が整ったらBGMを流す。教室を出る前と戻ってきたときの雰囲気を変えることで、よりお店に来たように感じられるようにしたい。「ごはん屋さん」は、複数の飲食店があり、食券とメニューを交換するフードコート形式にする。単元期間中、飲食店の種類は児童の好きな食べ物6種類から用意し、毎日4種類ずつ展開する。どんな食べ物があるのか興味をもって取り組む姿を期待している。「ごはん屋さん」では、客は、食券ボードで欲しいメニューを選び、食券を手に入れる。その後、店に順番に並び、店員に食券を渡す。注文したメニューを受け取って飲食エリアに運ぶ。メニューが分かりやすいよう、メニューと同じ模型を展示することでメニューが分かり、自ら欲しいものを指さしや手を伸ばしたりして食券

を手に入れたり、身振りや言葉で「ちょうだい」と伝え注文をしたりしてほしい。店員は、客に言葉や身振りで挨拶をし、客から食券を受け取り、注文されたメニューをお盆に用意する。「いらっしゃいませ」や「どうぞ」、最後に「ありがとうございました」などの挨拶や「何にしますか」や「わかりました」、「はい」などの受け答えを言葉や身振りです。帽子など店員さん風の服装を用意することで店員さんの気分になり、教師の真似をしながら友だちと積極的にかかわって活動に取り組んでほしい。飲食エリアに全員客がそろったら「いただきます」をする。楽しみながら待てるよう、メニューの模型のトッピングを自分で盛り付けられるようにしておく。自分の興味があるトッピングを手にとったり、友だちや教師とトッピングを交換するなど人とかかわったりしながら待つ時間を過ごしてほしい。単元始めは、教師が店員を行うが単元中盤に、児童も店員を行う。使う言葉を簡単に分かりやすくしたり、同じ流れて行ったりしていく。5人の児童が客だけでなく、店員も行うことで子どもたち同士がかかわる機会を増やしていきたい。

単元期間中、初日を除いて毎日「『ごはん屋さん』に行こう」を行う。毎日、同じ活動に取り組むことで次第に見通しをもち、自分からお店に並んだり、注文したりするなど積極的に取り組んでほしい。また、店員の児童を見て自分もやってみたくて興味をもって取り組むことも期待している。

本時は、単元中盤である。客は、流れに見通しをもち始めた頃である。迷ったときに、教師の手助けを受けながらも自分で食券を出したり、注文したりして活動を楽しむ姿を期待している。店員は初めての児童が行うので、教師と一緒に楽しみながら店員に取り組む姿を期待している。

(4) 単元目標 (評価規準)

	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
単元目標 (評価規準)	<ul style="list-style-type: none"> ・(客)やり方が分かり、店員に食券を渡して注文したり、受け取ったメニューをテーブルまで運んだりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(客) 欲しいメニューの食券を手に入れたり、店員に言葉や食券を手渡してほしいメニューを伝えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(客) 自分から欲しいメニューの食券を手にとったり、「ごはん屋さん」に並び、店員に注文しに行ったりしている。 ・(店員) 自分から進んで「ごはん屋さん」の準備をしたり、客に挨拶をしたりしている。
教科等	生活 1段階 エ遊び (イ)	生活 1段階 オ人とのかかわり(ア) 国語 思A 1段階 ウ	生活 1段階 エ遊び (ア)
	自立活動 3人間関係の形成	6コミュニケーション	

(5) 単元の計画

月日	曜	活 動 内 容	備考
11/19	金	○導入(活動について)、看板作り	
22	月	○「ごはん屋さん」開店 (T1が店員になり、児童は客のみで行う)	
24	水		
25	木	○「ごはん屋さん」開店 (T1と児童2名が店員を行い、他は客)	25・26日店員
26	金	(客) (店員)	(Aさん・Bさん)
本時 29	月	①校内を歩く。 ①店の準備を手伝う。	29・30日店員
30	火	②メニューを選ぶ。	(Cさん・Dさん)
12/1	水	③来店する。 ②接客をする。	1日店員
↓	↓	(店に並ぶ・食券を渡して注文 (挨拶・食券を受け取り、注文を	(Eさん・Aさん)
2	木	をする・メニューを受け取り、 受ける・メニューを用意し渡す。)	2日店員
↓	↓	席に運ぶ。) ③「ありがとうございました」と挨拶	(Eさん・Cさん)
↓	↓	をする。(言葉・お辞儀等)	
↓	↓	④全員揃ったら「いただきます」 ④自分たちの食べたい物を選ぶ。	
↓	↓	をする。 ⑤「いただきます」をする。	
↓	↓	⑤返却口に片付ける。 (接客をする。)	
3	金	(おかわりをする。)	
		○振り返り(掲示物作り)	

(6) 本時 (6/10)

①本時の目標 (評価規準) 「何ができるようになるか」

	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
本時の目標 (評価規準)	<ul style="list-style-type: none"> (客) 教師の支援を受けながら、店員に食券を渡して注文したり、受け取ったメニューをテーブルまで運んだりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> (客) 教師の支援を受けながら、欲しいメニューの食券を手に入れたり、店員に言葉や食券を手渡して欲しいメニューを伝えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> (客) 教師の言葉かけに応じて、「ごはん屋さん」に並び、店員に注文しに行っている。
	<ul style="list-style-type: none"> (店員) 客が来たことに気づき、教師と一緒に言葉や身振りで挨拶をしたり、食券を受け取って、食券と同じメニューを用意し渡したりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> (店員) 教師と一緒に「ごはん屋さん」の準備をしたり、客に挨拶をしたりしている。
教科等	生活 1段階 エ遊び (イ)	生活 1段階 オ人とのかかわり (ア) 国語 思A 1段階 ウ	生活 1段階 エ遊び (ア)
	自立活動 3人間関係の形成 6コミュニケーション		

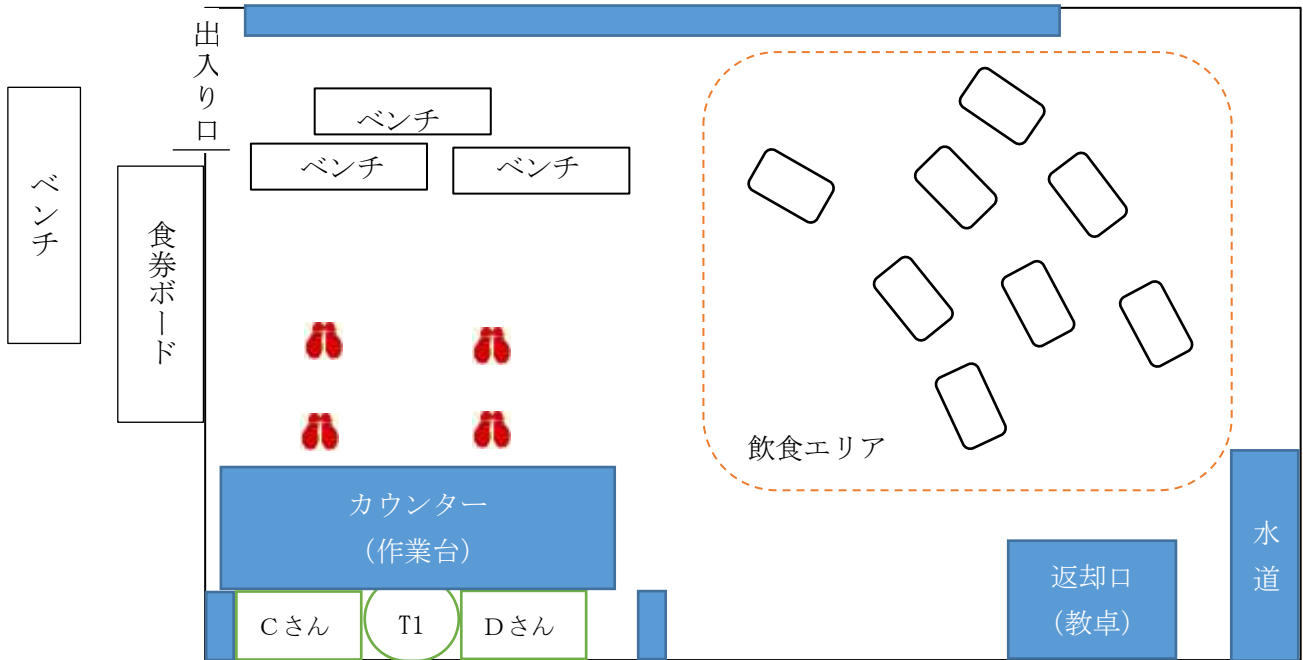
②展開

時配	児童の活動	指導・支援上の留意点	教具/資料等
10:00 (1)	○曲がかかったら、廊下のベンチに集 し、手指消毒をする。	・集合することに気づけるよう、「秘伝ラ ーメン体操」の曲を流す。 ・あらかじめ、ベンチを並べておく。 ・着席した児童から順番に手指消毒をす る。(T3)	スピーカー BGM ベンチ アルコール
10:01 (1)	○始まりの挨拶をする。(T3) ・姿勢を正し、教師の号令や身振りを真 似て挨拶をする。	・全員が注目したことを確認してから、始 まりの挨拶をする。	
10:02 (13)	○今日の活動内容を知る。 ・「ごはん屋さん」が開店することを、 写真などを見て知る。 ○準備が整うまで校内を移動する。 ・ベンチから立ち上がり、列を作る。 ・校内を歩く。 Gさん・Cさん・Eさん・Fさん 前 T2 T4 T3 後 Bさん・Dさん・Aさん・Hさん ○客と店員に分かれて活動をする。 (客) Cさん・Dさん以外 ・歩行から戻り、食券ボードからメニュ ーを選ぶ。 ・選んだメニューの食券を取る。 (店員)(Cさん、Dさん) ・「ごはん屋さん」の準備をする。 ①店員の帽子をかぶる。 ②籠に入ったメニューを棚に運ぶ。 ③飲食スペースを用意する。	・今日の活動内容が分かるよう、写真など で「ごはん屋さん」を紹介する。 ・ベンチから立って並ぶよう前から順番に 言葉をかける。(T3) ・移動中、「ごはん屋さん」に行くことが 楽しみになるよう、話題にする。 ・歩行隊形が崩れそうなときは、一度立ち 止まり列を整えてから再び歩き始める。 ・メニューのイメージがもてるよう、実際 の模型も展示する。 ・手が届く所に食券を貼っておき、自分で 取り外せるようにする。 ・一緒に店員をやることを伝え、どんなメ ニューがあるか模型を見せながら話す。 ・店員が意識できるように帽子を用意す る。 ・メニューの模型が運びやすいよう、籠に まとめて入れておく。 ・危険が無いよう、必要に応じて一緒に机 を運ぶ。 ・机を置く場所が分かるよう、床に印を付 けておく。 ・メニューを置く場所が分かるように、棚 に目印を付けておく。	写真カード 食券ボード 模型 食券 帽子 模型 籠 棚

10:15	○「ごはん屋さん」を開店する。	・「ごはん屋さん」への期待感がふくらむ	看板
(20)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(客) Aさん・Bさん・Eさん Fさん・Gさん・Hさん</p> <p>(店員) Cさん・Dさん</p> </div>	ように、机の配置や看板やメニューを設置し教室の中を「ごはん屋さん」の雰囲気が出るようにする。	目印 机・椅子
	(店員)・ごはん屋さんのカウンター(作業台)から客を迎える。	・準備ができれば、入口に看板をかけてBGMを流す。	BGM
	(客)・教室に入り、ベンチに座る。	・ごはんやさんが始まったことが分かるよう、「いらっしゃいませ、開店です」など言葉をかける。	
	(客)・2人ずつ順番に店に並ぶ。他の児童は食券や並んでいる友だちの様子を見ながらベンチに座って待つ。	・並ぶ場所が分かるよう、ラインを引いておく。	ビニールテープ
	(店員)・「いらっしゃいませ」と挨拶をする。(言葉・お辞儀等)	・ごはん屋さんに行くことが楽しみになるように、食券を見ながら「楽しみだね」や「〇〇さんは、何を注文するのかな」と話ながら一緒に待つ。(T2、T3) ・「いらっしゃいませ」と挨拶する際は一緒に元気よく挨拶をするようにする。	
	(客)・店員に食券を手渡ししながら、注文をする。	・「食券をください」と言葉をかける。(T1) ・必要に応じて食券を指さしたり、「〇〇さんに渡しましょう」など言葉をかけたりする。(T2、T3)	
	(店員)・食券を受け取る。	・食券を受け取るよう、言葉をかける。 ・食券を見て「分かりました、〇〇ですね」と言葉をかけ、児童が選んだものを確認する。(T1)	
	(店員)・食券を見ながら、メニューをお盆に用意する。	・メニューを用意できるよう食券を指さして「同じ物はどれですか」や「お盆の上に載せましょう」など言葉で伝える。 ・メニューが足りなくなったら補充する。(T1)	お盆
	・「はい、どうぞ」とお盆を手渡す。	・必要に応じて「お盆を渡しましょう」などと言葉をかける。	
	・「ありがとうございました」と挨拶をする。(言葉・お辞儀等)	・挨拶のきっかけになるよう「せーの」と言葉をかけ、一緒に「ありがとうございました」と言う。	
	(客)・注文したメニューを受け取り、席に運ぶ。	・メニューを落とさないよう見守り、必要があれば一緒に運ぶ。(T2、T3)	
	・「いただきます」まで席に座り待つ。	・「いただきます」まで楽しみながら待てるよう、メニューの模型のトッピング	トッピング

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6人そろったら、「いただきます」をする。 <p>(店員) ・メニューを選んでカウンターで「いただきます」をする。</p> <p>(客) ・返却口にお盆を片付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食券を受け取り、お代わりをする。 <p>(店員) ・おかわりにきた客を接客する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「閉店です」と言葉をかける。 	<p>を好みに載せることができるようにし、「トッピングを載せましょう」など言葉をかけたりする。(T2、T3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 注文に来ている児童の様子に応じて、「先に『いただきます』をしましょう」などと言語をかける。 ・ 客がいなくなったら、様子を見てメニューを選ぶよう言葉をかける。店員が椅子をカウンターに用意する。 ・ お盆を片付ける場所が分かるよう、返却口の看板とお盆を置いておく。 ・ 教室内に食券ボードを移動し、「お代わりしたい人はどうぞ」と言葉をかける。(T1) ・ お代わりに行きたい児童に、食券ボードに向かうよう言葉をかけ、一緒に行き必要に応じて支援をする。(T2、T3) ・ 客が来たことを伝え、一緒に接客をする。自分のメニューに集中していたら、無理のない範囲で誘うようにする。 ・ 閉店することが分かるよう「蛍の光」(BGM)の曲を流し、店員と一緒に「閉店です」と言葉をかける。 	<p>角椅子</p> <p>返却口</p> <p>BGM</p>
10:35	○本日の振り返りをする。		
(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選んだメニューや感想について発表する。 ・ 明日の予定(メニュー)や店員を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表してくれる人を募り、「何を注文しましたか」など質問をする。 ・ 次回の予定を知らせ、期待感がもてるようにする。 	
10:39	○終わりの挨拶をする。		
(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が教師の号令や身振りを真似て挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員が教師に注目するように手を膝に置いたことを確認してから号令をかける。 	

③場の配置 小学部2年2組 教室



(7) 資料

例) ①食券ボードと模型



②模型(一部)



③看板



④食券



(表)



(裏)